









デパート漫談  
——(二)——

**時 所** 十月十四日夜 本社貴賓室

**出席者** 來賓側 三越屋敷支店加藤常英氏 子  
國支配人鈴木文次郎氏 中井興服店中井富太郎氏  
開芳氏 平田吾賀屋芳太郎氏 飯野野三郎氏

**本社側** 本社部長寺田謙次郎氏 廣告部長松原  
真太郎氏 俱樂部主幹田中一昭氏 廣售部長濱村三郎氏  
社會部記者來島正巳氏

ると、二十二銭になるではな  
かともよくいつたものでした  
脇野「求めて得ずし、閑置する  
ではないのですが、化弊要な加

服く穿たなければならぬ。まあ、上士  
 併し今は化粧品も一定してあり  
 ますので、これによって取止る  
 で申し上ぐる。このことありますん  
 田「皆さへ、化粧品は、髪に擦く  
 ならましな、主廉くならまし  
 せうか」  
 藤「髪を洗つて、髪は乾かす  
 了、髪油を髪に出さぬが、い  
 たので、八月頃から、一週間  
 上向いてゐるはずす。相違は  
 無いし、来ました。船物もが  
 ドン船でせう。こゝ以上、な  
 と本島の京都には、は例、な  
 が、船出でせう。先づ、これ以上、行  
 かない、如何れす」  
 田「洋装は如何れすか」  
 藤「原形は、つてりますが、  
 何分下着、下りません。今も、  
 工賃は、一日、四、五、圓位です。か  
 下、下、下、下、下、下、下、下、  
 原形が、下、た、た、た、た、た、た、  
 の、罪です。それに、國品が、髪  
 になつて、来しな」  
 藤「國品が、髪分、分、分、分、分、  
 分、分、分、分、分、分、分、分、  
 の、ですか、ど、この、品、と、し、  
 船木「現在の洋服の、前、後、の内、外、人  
 上、下、上、下、上、下、上、下、上、下、  
 た、上、下、上、下、上、下、上、下、  
 なが、か、か、か、か、か、か、か、か、  
 とも、も、も、も、も、も、も、も、も、  
 船出は、見、な、な、な、な、な、な、  
 あります、目、目、目、目、目、目、  
 出来、製、製、製、製、製、製、製、  
 の、通、り、水、が、い、つ、て、い、つ、  
 昔、田「水にあ、あ、あ、あ、あ、あ、  
 お、計、計、計、計、計、計、計、計、  
 船木「そんな、と、と、と、と、と、と、  
 舶、來、品、の、分、分、分、分、分、分、  
 な、ど、一、部、部、部、部、部、部、部、  
 が、同、く、た、た、た、た、た、た、  
 何、何、何、何、何、何、何、何、  
 船木「先づ、一、個、を、せう」  
 田「洋服、い、へ、へ、今、度、は、越、  
 も、お、お、お、お、お、お、お、お、  
 加、藤、藤、藤、藤、藤、藤、藤、  
 文、太、太、太、太、太、太、太、  
 田「路、路、路、路、路、路、路、  
 加藤「あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、  
 上、と、と、と、と、と、と、と、  
 田「レ、レ、レ、レ、レ、レ、レ、レ、  
 さ、さ、さ、さ、さ、さ、さ、さ、

の相違は、どうですか  
 一 婦人の平均年齢は長くなる  
 二 妻は健康に保たれて  
 三 妻は仕事に専念する  
 四 妻は好まぬといはれま  
 五 妻は好まぬといはれま  
 六 妻は好まぬといはれま  
 七 妻は好まぬといはれま  
 八 妻は好まぬといはれま  
 九 妻は好まぬといはれま  
 十 妻は好まぬといはれま  
 十一 妻は好まぬといはれま  
 十二 妻は好まぬといはれま  
 十三 妻は好まぬといはれま  
 十四 妻は好まぬといはれま  
 十五 妻は好まぬといはれま  
 十六 妻は好まぬといはれま  
 十七 妻は好まぬといはれま  
 十八 妻は好まぬといはれま  
 十九 妻は好まぬといはれま  
 二十 妻は好まぬといはれま  
 二十一 妻は好まぬといはれま  
 二十二 妻は好まぬといはれま  
 二十三 妻は好まぬといはれま  
 二十四 妻は好まぬといはれま  
 二十五 妻は好まぬといはれま  
 二十六 妻は好まぬといはれま  
 二十七 妻は好まぬといはれま  
 二十八 妻は好まぬといはれま  
 二十九 妻は好まぬといはれま  
 三十 妻は好まぬといはれま  
 三十一 妻は好まぬといはれま  
 三十二 妻は好まぬといはれま  
 三十三 妻は好まぬといはれま  
 三十四 妻は好まぬといはれま  
 三十五 妻は好まぬといはれま  
 三十六 妻は好まぬといはれま  
 三十七 妻は好まぬといはれま  
 三十八 妻は好まぬといはれま  
 三十九 妻は好まぬといはれま  
 四十 妻は好まぬといはれま  
 四十一 妻は好まぬといはれま  
 四十二 妻は好まぬといはれま  
 四十三 妻は好まぬといはれま  
 四十四 妻は好まぬといはれま  
 四十五 妻は好まぬといはれま  
 四十六 妻は好まぬといはれま  
 四十七 妻は好まぬといはれま  
 四十八 妻は好まぬといはれま  
 四十九 妻は好まぬといはれま  
 五十 妻は好まぬといはれま  
 五十一 妻は好まぬといはれま  
 五十二 妻は好まぬといはれま  
 五十三 妻は好まぬといはれま  
 五十四 妻は好まぬといはれま  
 五十五 妻は好まぬといはれま  
 五十六 妻は好まぬといはれま  
 五十七 妻は好まぬといはれま  
 五十八 妻は好まぬといはれま  
 五十九 妻は好まぬといはれま  
 六十 妻は好まぬといはれま  
 六十一 妻は好まぬといはれま  
 六十二 妻は好まぬといはれま  
 六十三 妻は好まぬといはれま  
 六十四 妻は好まぬといはれま  
 六十五 妻は好まぬといはれま  
 六十六 妻は好まぬといはれま  
 六十七 妻は好まぬといはれま  
 六十八 妻は好まぬといはれま  
 六十九 妻は好まぬといはれま  
 七十 妻は好まぬといはれま  
 七十一 妻は好まぬといはれま  
 七十二 妻は好まぬといはれま  
 七十三 妻は好まぬといはれま  
 七十四 妻は好まぬといはれま  
 七十五 妻は好まぬといはれま  
 七十六 妻は好まぬといはれま  
 七十七 妻は好まぬといはれま  
 七十八 妻は好まぬといはれま  
 七十九 妻は好まぬといはれま  
 八十 妻は好まぬといはれま  
 八十一 妻は好まぬといはれま  
 八十二 妻は好まぬといはれま  
 八十三 妻は好まぬといはれま  
 八十四 妻は好まぬといはれま  
 八十五 妻は好まぬといはれま  
 八十六 妻は好まぬといはれま  
 八十七 妻は好まぬといはれま  
 八十八 妻は好まぬといはれま  
 八十九 妻は好まぬといはれま  
 九十 妻は好まぬといはれま  
 九十一 妻は好まぬといはれま  
 九十二 妻は好まぬといはれま  
 九十三 妻は好まぬといはれま  
 九十四 妻は好まぬといはれま  
 九十五 妻は好まぬといはれま  
 九十六 妻は好まぬといはれま  
 九十七 妻は好まぬといはれま  
 九十八 妻は好まぬといはれま  
 九十九 妻は好まぬといはれま  
 一百 妻は好まぬといはれま

われ乍ら  
笑ましげに  
見遣る  
肌の美しさ  
色の白さ  
お化粧の前に

牛乳石鹸

カタクダ進呈



# 中等教育の 當面問題

(一)

試験制度改正に就て  
盧 正 一

貴紙が中野實政院の請願書について、毎目上に「其り敬  
愛の辭に愛真摯願の意見」を發表された事は、教育に關心  
を持つ目録として、感謝のうちに讀みながら、其の意見  
を讀んで、對御希望するところが、また余々たる甚  
の顯へ、他山の石らしいの留札があかも知ぬと思ひ  
これを貴紙に投ずる。

斯の如く取引問に考へても全  
無ならんとは、はれないであ  
らう。然し一歩進んで、政治  
に於て、教育政策を教育に  
出する精神を教育する時は、左の如  
でなかりうか。即ち

一、實地に重き教育、生きた教  
育は、一世紀に亘る以上、機

藝界 (34)  
 黒田 進  
 氏は我國におけ

正午 晴報、二ノ六  
午後 四ノ分 左衛門重吉  
一吹け 登風 スピルマ

**22日 公設市場**

小賣直發

ビンカトンの張 若松みき子  
 功徳園 若松節子  
 放牧須賀 上宮 蘭  
 飯後須賀 加藤 祐  
 九龍三〇分 氣流橋渡 吉地天  
 氣流橋渡 眼蔵  
 九龍四十分 南沢短航 櫻 奏  
 ・短航二・津波朝歌

[illegible][illegible]

話タ

諸の叫び手として第一入者をて目されてゐる

ととなり近くその吹込のレコードは賣居されるが目下藤岡の一行とともに来城、備前

とて、その上に真鍮で次の改

[illegible][illegible]

知識の林 (二)

アブラダが眼をさまして見ます



話童庭家

## 探検の行

(15)

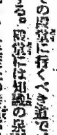
作トツコロオ・エジ

譯波小谷

監三穀田

このいともやしも、**人間の歴史**の  
一つの**フナバト**をして、**かみ**の  
刃のななめ、**主刀**が**肩**  
の下のななめ、**腰**に**懸**て、**まへ**  
**果敢**と**突**き、**降**すは、**奇**き  
**奇**きするところへ、**い**いなる**谷**  
は、**その**間に**行く**まで、**こ**  
**り**まゐる。歴史には**果敢**の**果**が  
どなり、**人生**の**争**が、**奇**き

さして、**くる**歴史は、**必ず****主刀**  
**かみ**の出で、**やう**、  
と**果敢**の向の、**削**つて、**林**  
の中に入つて、**ま**した。前には、**果**




口いてありました。  
 知識を求むるものよ  
 の世を去りこの世のうちに  
 手紙はたゞ知識によつてのみ

[illegible]

の「星印」を車にしけることでござ  
る。昔から、酒造りの職人といふ  
ものは、たゞ知識によりての  
ものばかりでなく、心と手とが合  
つてゐるべきものでありまう。故  
にわはタダツの品物ではな  
しこの城までとの想ひを込め  
ての物は勿論だが、わしはか  
ハコソンの贈り物を求めず

特品（赤レール）  
並品（黄レール）  
星印ソーシス

イノロ六

[illegible]

といふ一語、驚異の念が先き  
 立つて迎へし、たゞアブラハ  
 ムにして心算直じこれに驚  
 ました。アブラハムは眼へまじだ  
 れは今また金銀をいふものは  
 と疑ふとぞわれるものと思つ  
 て、わら紙にうづき廻つて



四の苦痛めいかり一つ宛す。目<sup>め</sup>の脚<sup>けつ</sup>のおよびの  
運<sup>うん</sup>有<sup>う</sup>法<sup>ぽう</sup>則<sup>すなは</sup>究<sup>きう</sup>す。またつね  
と、とりけ、由<sup>よし</sup>來<sup>きた</sup>を、附<sup>つ</sup>け、  
密<sup>みつ</sup>にその方法<sup>はうほう</sup>につづ、かの  
自<sup>みづか</sup>のちのちの脚<sup>けつ</sup>を治<sup>ち</sup>す。と得<sup>え</sup>  
る。善<sup>ぜん</sup>の善<sup>ぜん</sup>の體<sup>たい</sup>を行<sup>な</sup>ふ。と  
出<sup>で</sup>る。のであり。また。それをも  
堅<sup>けん</sup>に。は體<sup>たい</sup>を。また。と。學<sup>がく</sup>師<sup>し</sup>と

るのおもしろい。お習に  
るのおもしろい。お習に  
るのおもしろい。お習に

のほは一體といふ所を  
のほは一體といふ所を  
のほは一體といふ所を

ちなはたの裏手になら  
ちなはたの裏手になら  
ちなはたの裏手になら

て、それを二つ知らせて  
て、それを二つ知らせて  
て、それを二つ知らせて

おまへ  
おまへ  
おまへ

みました。  
みました。  
みました。

耳鼻咽喉科診察 聾  
京城府黄金町(兼天竺)醫學博士阪

  
 清 時形  
 傳義一置式  
 製作販賣  
 シヤフト、  
 プーリト、  
 町市古府城  
 行商谷

洋館 國産 鋼骨

土木建築材料

パイプ 鋼骨 工業用 鋼骨

釜山府 釜山 二丁目

角野商店

電話 二二三三

探田 釜山 二丁目

カブリデ


武

	小	同	同	同	川	城
周局	端	同	同	同	同	
韻平井非三野浦中鉢田三六						
松手起口	簡合	皇日忍慈三				
義商商商會	資商商西商商					
組會社會社店店店會會						
清群威咸統鋪釜元元本大						
津山興海聲項山由山浦郎						
三三渡岩岩中江下小小三三						
井井愛兒本谷頭キ泉國園						
派派出出	商商商商商	支支				
員員店店店店店店店店店						



京師府寶金町一丁目  
三井物産株式會社  
石炭部  
京城文部

完全、放熱旺大  
秀優雅な高級品  
新英・七龍



の進出!

取  
六  
ハ  
ク

イ  
ロ  
ク


實用本位の  
一・二・三番

完全の極致

實用普及型  
超特高級型



簡易 堅牢 廉價



カタクダ 進出

牛乳后  
上  
商標

われ乍ら  
笑ましげに  
見遣る  
肌の美しさ  
色の白さ  
化粧の前に

\_\_\_\_\_











内外社



露國の滿蒙  
新政策

露支會議の難題

[illegible]

南北滿洲に於ける  
朝鮮人の農作物

概して平年作以

[illegible]

政情短信

X  
Y  
Z

[illegible]

東京音信

在京一記者

[illegible]


電氣事業調查幹事會

新電氣事業調查會第一回會議

開闢を見るべき希望となつた  
これが準備のため十八日午前  
より本府第三會議室において  
新井田屋の上左の事項につき打  
ちあつた

新來の購買規定

一般雇用電力、一般工業用電力、  
農業用電力、特殊工業用電力、  
特別電力



愈又具體化

五ヶ年帝とす

不景氣を知ちの國

新義州平  
齋藤總督

# 瑞典の實情

**【材】**

九月廿五日 坂本幸四郎

自動車と電話

文化経済の進んでゐるのは自動車と電話に見ても判る。スウェーデンには電話車のみでも十萬臺あり、日本のサット二倍である。然

而てである。

「電話はスウェーデンに約五萬ある。個體数は日本より少い。が人口に關り當るとして、日本のサット二倍である。然

而てである。」

◆新義州平北道廳訪問の齋藤總督（左二目人物也）

郷土片々

大猫の佛探 甲州身延山の

[illegible]

金剛

市

探勝路詳細  
其十一 點石洞、後谷、  
摩訶庵、溪谷、  
みも瀧からぬ井里の一夜が  
は、今日はいよいよ現世を  
て畢げるところらしい。併  
物とはりやうで他の方面にお  
海のある事が、幸してゐる事  
るから一得一失といふべきか  
外山標識を越えて、神樂寺

おいて、豊石洞溪谷は七月の  
 間雪を見年中を通して解けぬ

「**アムラ**」と読んだ

は、形を右に見、動  
脈から先の道に、自然のあつて

た。探病者登したものでしうが、  
において非難に危ない道なりといふ  
途には行つた人がないといふ  
動脈と表裏合流は今臨終まで留  
つてもさしたる過言でない。

ね年もあり、その雪を目撃  
雲と共にゆく顔であるが、行  
從ひ邊に道を失ひ大岩は障とな  
とても目的の達し停られぬ事  
通のはりである。併しこの砂

急生口！！

造改  
錄附大  
頁金百五々堂  
冊別

絶対再版せず  
詳細の廣告は  
明日後紙に上

價廉的牲犧超  
と録附と誌本超

錢拾八冊二

**りあれ恐のれ切賣**  
**!!を約豫御で店書き急**

發行所  
東京芝區新町  
改造社  
地址東京區八〇二番

和洋藥房  
食達朝港

親切丁寧・茶代服止

電話五二二番

大田木テル

大印

乳兒榮養料

牛乳藥養の必需品

○大印榮養料は牛乳の成分を補充して母乳と同じ養分値にするものです

○牛乳がコナシクでお母をお育ての時この滋養料を入れて與へれば栄養不足を補ふのにあつて驚く程安全な發育を遂げられます

○用表料品にて買取

○説明書 贈呈

和光堂

定価 1000 円  
1000 人 1箱  
1000 人 1箱

東京市神田區錦町九  
大田木テル大印支店

●大印と和光堂親に御留意

鎮南浦府

**最上豆醬油**

上  
天

增田食糧品店  
中野七番町店  
大治千代橋商店  
銀治千代橋商店

原庄大豆三斗百斤  
原庄黃金一百斤  
原庄赤金一百斤  
原庄綠豆一百斤  
原庄白米一百斤

所港離厚柳

りおにーアトスソイエチ堂生資地香

資生堂固煉白粉

す 滑を 潤おの 女貴く 滲くる 明  
粉白のと色肌と白たれ優り匂

(錢十五小・圓一大)



# 西部日本水産大 会を見て

記者

二月三日、四日、五日の三日間、大阪府立水産大学で、西部日本水産大会が開かれた。この大会は、水産関係者の大集會であり、水産の発展と漁業の増進を目的として開催された。会場には、水産関係の最新技術や設備が展示され、関係者間の交流も盛んに行われた。大会の成功は、水産関係者の協力と努力のたまものである。

## 威興府議 第一次選舉

有権者七六四名  
十一月廿日施行

威興府の第一次選舉は、十一月二十日（日曜）に施行された。有権者は七六四名に達し、選挙の結果は、威興府議会の刷新をもたらした。選挙の結果、威興府議会の刷新は、府民の期待に応じたものと見られる。選挙の結果、威興府議会の刷新は、府民の期待に応じたものと見られる。

## 鮮満商業學 校長會議

廿一日、廿二日

鮮満商業學の校長會議は、二十一日、二十二日の二日間、東京で開かれた。この會議は、鮮満商業學の発展と教育の向上を目的として開催された。會議の結果、鮮満商業學の発展と教育の向上は、関係者の協力と努力のたまものである。

## 官立師範設置 期成會組織する

公職者町議決定す  
常任委員決定す

官立師範設置の期成會は、公職者町議決定し、常任委員を決定した。この期成會は、官立師範設置の推進を目的として組織された。期成會の組織化は、官立師範設置の推進に大きく貢献するものと見られる。

## 延納減免は 絶対に認めぬ

米價暴落の對策は  
別途に考究する

延納減免は絶対に認めない。米價暴落の對策は別途に考究する。この方針は、米價暴落の對策として採用された。延納減免は絶対に認めない。米價暴落の對策は別途に考究する。

## 白米の暴落

米價暴落の對策は  
別途に考究する

白米の暴落は、米價暴落の對策として採用された。白米の暴落は、米價暴落の對策として採用された。白米の暴落は、米價暴落の對策として採用された。

## ベラ棒に高い 引込線使用料金

値下げの運動起る

ベラ棒に高い引込線使用料金は、値下げの運動が起る。この運動は、ベラ棒に高い引込線使用料金の値下げを目的として行われた。値下げの運動は、ベラ棒に高い引込線使用料金の値下げを目的として行われた。

## 春川農業學校 第一回學生相撲大會

觀衆を熱狂せしむ

春川農業學校の第一回學生相撲大會は、觀衆を熱狂せしめた。この大會は、春川農業學校の學生間の交流と競技を目的として開催された。觀衆を熱狂せしめた。

## 南浦平果 受難時代

凶作で資金  
の返済困難

南浦平果の受難時代は、凶作で資金の返済が困難となった。この受難時代は、南浦平果の資金の返済が困難となった。凶作で資金の返済が困難となった。

## 平安南道 巡迴診療隊

巡回診療隊  
の巡回活動

平安南道の巡回診療隊は、巡回活動を行っている。この巡回診療隊は、平安南道の巡回活動を行っている。巡回活動を行っている。

## 電氣の配電 盤破裂

電力供給停止  
の危険性

電氣の配電盤破裂は、電力供給停止の危険性がある。この破裂は、電氣の配電盤破裂は、電力供給停止の危険性がある。

## 袋財合

財物管理  
の重要性

袋財合は、財物管理の重要性を示している。この袋財合は、財物管理の重要性を示している。財物管理の重要性を示している。

## 青年團代表決定

代表決定  
の過程

青年團代表決定の過程は、代表決定の過程を示している。この代表決定の過程は、代表決定の過程を示している。代表決定の過程を示している。

## 純國産美粧料

美粧料  
の品質

純國産美粧料の品質は、美粧料の品質を示している。この純國産美粧料の品質は、美粧料の品質を示している。美粧料の品質を示している。

### 美人決勝點に入るには？

左圖化粧競争の各選手は正しい順序の上に居りません。若し、美しくお肌を作るためには、どの選手をどの順序の上に置いたら宜しいでしょうか。

選手	順序
第一選手	第一
第二選手	第二
第三選手	第三
第四選手	第四

### 美人決勝點に入るには？

左圖化粧競争の各選手は正しい順序の上に居りません。若し、美しくお肌を作るためには、どの選手をどの順序の上に置いたら宜しいでしょうか。

選手	順序
第一選手	第一
第二選手	第二
第三選手	第三
第四選手	第四

### 美人決勝點に入るには？

左圖化粧競争の各選手は正しい順序の上に居りません。若し、美しくお肌を作るためには、どの選手をどの順序の上に置いたら宜しいでしょうか。

選手	順序
第一選手	第一
第二選手	第二
第三選手	第三
第四選手	第四

### MISONO

ピーナスのメーカアップ

御園白粉

大瓶 七十五銭  
中瓶 五十銭  
小瓶 三十銭







# 衛生口錠 口中腸胃内殺菌劑

## カオールの力



愛讀者各位

御後援の下に

本劑は——口より入る總ての病菌を豫防する  
護身藥にして 飲食の後外出の時 其他人  
込中には必ず一三三粒を口中に含めば病氣を  
豫防すると云ふ事が今や全國に徹底せられま  
して本劑の需要益々盛なるを感謝致します

### カオールの配劑と其効用

製劑顧問 ドクトル 松尾 道

#### ◎故に皆様の保健の爲めに

- ◇悪疫流行の時 ◇飲食の後
- ◇他人に接する時 ◇汽車電車に乗時
- ◇執務勉強の時 ◇遠足運動の時
- ◇口中の臭き時 ◇酒食召上る時
- ◇禁煙を望む時 ◇音聲を使ふ時
- ◇気分悪しき時 ◇疲勞したる時

カオールの三粒を口中に含めば、本劑を口に含めばマスク、ウガヒの必要なきと同時に心身を爽快にし胃腸を健全にするの効あり

#### ◎本日より直ちに

御常用をすすめて下さい

#### ▽本劑の定價と容量△

袋 入 4 粒	百
同 20 粒	二百五十粒
同 30 粒	三百粒
同 50 粒	三百粒
同 100 粒	三百粒
同 200 粒	三百粒
同 300 粒	三百粒
同 500 粒	三百粒
同 1000 粒	三百粒
同 2000 粒	三百粒

カオールの

全國到る處の藥店にあり

本舖 東京日本橋區水天宮前 徳安藤井商店藥品部

目下金五萬圓を提供して  
應募者全部總當りの  
保健衛生標語を募集中です  
詳細は御近所の藥店にて御問合せを願ひます









